

# 川越市公共下水道全体計画の変更について

令和5年11月15日(水)

第3回川越市上下水道事業経営審議会

川越市上下水道局 事業計画課

# 川越市公共下水道全体計画の変更について

## 1. 下水道全体計画とは

全体計画とは？

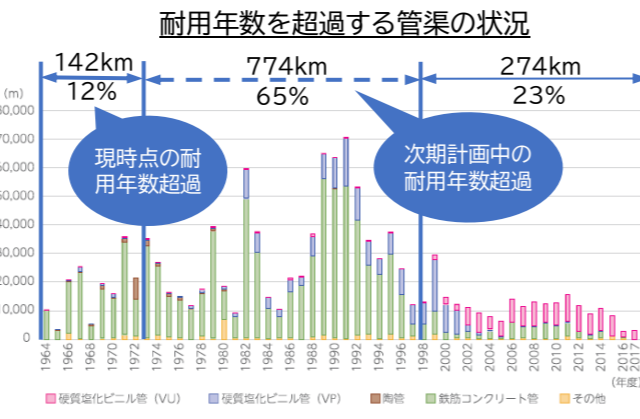
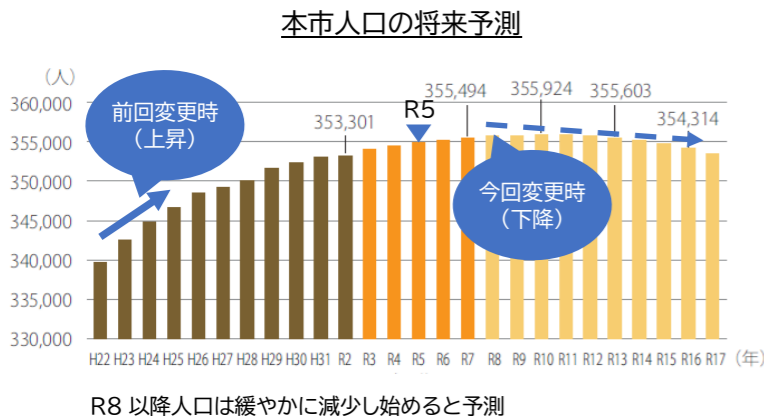
下水道全体計画は、市の都市計画と整合を図り今後、20年から25年後の下水道計画について目指すべき基本的な方向性を定めるものであり、将来人口や社会情勢を踏まえた計画として、下水道事業計画の適正化を図る目安となるものです。

## 2. 今回の全体計画変更に至る経緯

計画変更の契機について

現在の下水道全体計画は、高度経済成長期以降、バブル経済期を骨格とした考えの基に作成された計画となっており、市街化調整区域内の既存集落についても概ねカバーする大きな計画でしたが、その後の少子超高齢社会の進展による人口減少社会の到来や、これまでに布設した膨大な下水道管さよの老朽化対策や災害に備える耐震化の推進等が、喫緊の課題となるなど社会情勢の大きな変化に直面しています。

このため令和元年度には、本市環境部が今後の市内における生活排水処理についての基本計画を見直し、公共下水道、合併処理浄化槽及び農業集落排水事業による排水区分が大きく見直されたところです。また、この度、上位計画である埼玉県荒川流域別下水道整備総合計画が同様の理由で変更されたことから、本市下水道全体計画についても変更することとなりました。

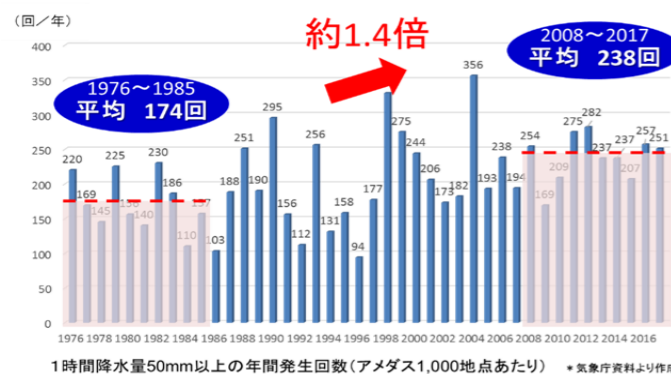


## 3. 下水道事業が解決すべき社会課題

社会情勢へどう対応するのか

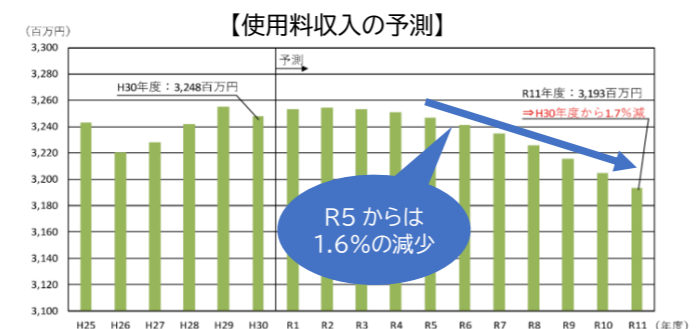
### ①自然災害の多発化、大規模化

地震や水害など、災害は多発化、大規模化しており、下水道などインフラの災害対策は今後も大きな課題であるため、耐震化や耐水化などを着実に推進していくことが重要となります。



### ②事業経営基盤の低迷

物価高騰や業界の人材不足により、整備コストが上昇する中、使用料収入は年々減少しており、今後は人口減少による収入減は更に大きくなるため、アセットマネジメントや官民連携などによる組織の変革が重要となります。



## 4. 下水道全体計画の変更方針【ポリシー】

変更ポリシーについて

### ✓社会情勢を踏まえた計画規模へ見直します

これまで、下水道事業を都市部に限らず広く展開して参りましたが、人口減少社会の到来など社会情勢を踏まえた事業計画規模へ見直します。

- 川越市生活排水処理基本計画(令和2年3月公表)で区分された公共下水道区域を全体計画区域設定の基本とします。
- 市街化調整区域内で企業立地等による新規の市街化区域編入が行われる場合は、該当区域を加えるものとし、その他、大規模開発事業等に伴う整備については、費用体効果を前提とした見直し検討を行います。
- 下水道計画区域外については、農業集落排水や合併浄化槽による個別処理を前提として水洗化を推進します。

### ✓持続可能な事業推進体制の確立を推進します

老朽化する下水道施設の更新に備え、ストックマネジメント計画の見直し、DX、官民連携によるコストの削減、人材の流動化を進めるとともに、下水道アセットマネジメントの確立により、持続可能な事業運営体制への変革を推進します。

### ✓多発する自然災害に対する下水道施設の対策を推進します

多発する自然災害に対応するため、下水道施設の耐震化、耐水化、冗長化、浸水対策などの災害対策を推進するとともに、防災意識向上を図ります。



## 5. 下水道全体計画変更概要

整備計画について

上記変更方針(ポリシー)を踏まえた下水道全体計画の整備計画は以下のとおりです。

### (1)計画目標年度

上位計画と整合を図ることが望ましいとされていることから、埼玉県の荒川流域別下水道総合計画(令和5年)と整合を図ります。

### (2)普及事業

下水道の普及事業は上記変更方針(ポリシー)に則り、以下のような計画面積及び計画人口で実施します。なお上位計画において、流域内におけるブロック毎に生活系污水や地下水、工場排水の污水負荷量や水質について、計画年度までの人口予測や土地の将来利用予測等を行っており、これらに基づき本市の計画汚水量が定められています。

項目	新計画			既計画		
	日平均	日最大	時間最大	日平均	日最大	時間最大
計画年度	令和31年度			令和6年度		
計画面積(ha)	4,543.2			6,363.0		
計画人口(人)	287,200			310,700		
計画汚水量(m <sup>3</sup> /日)	生活系	80,420	104,830	157,960	93,200	121,100
	地下水	15,800	15,800	15,800	18,800	18,800
	工場	6,970	6,970	13,940	15,200	30,400
	計	103,190	127,600	187,700	127,200	155,100

